

燃料節約機「節約くん」　取扱説明書(2009.09)

株式会社エス・エス・ティー

型　式：　AG125－225

目　　　次

この度は、弊社製品「燃料節約機　節約くん」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この説明書は取扱いに当たり、必要な注意事項を記載しておりますのでよくお読みいただき、正しい使い方をご理解いただいて末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

尚、本燃料節約装置に関するお問い合わせや、部品の注文に際しては、装置側面部ラベルの製品番号をお知らせ下さい。

株式会社エス･エス･ティー

〒720-0046 広島県福山市今町 1 番 18 号　電話(代表) 084-925-7111　FAX 084-925-7112

警告：この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。



お客様が当社に関係なく本装置の改造等を行われますと、安全上の保証が損なわれたり、所定の機能を発揮しなくなることがあります。その必要が生じましたら、ご購入先もしくは当社までご連絡下さい

１．取扱い上の注意

１－１　使用する燃油の注意事項

警告

○A重油･灯油をご利用ください。
Ａ重油・灯油以外の燃油を使用しないでください。燃油の漏洩や飛散でけがや物的損害が発生する恐れがあります。

○仕様圧力の範囲内でご使用ください。
仕様圧力を超えてご使用になりますと、装置接続部から漏れが生じ、燃料の飛散や引火により、けがや物的損害が発生する恐れがあります。

○燃油を使用しますので火気に厳重注意してください。
燃油および装置付近に引火しやすい物など置かないなどし、火気にご注意下さい。

１－２　設置場所の注意事項

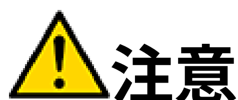
注意

○高温になる場所を避けてください。
加温機やボイラー等の放熱を受ける場所や高温になる場所等には置かないで下さい。
燃料が膨張し配管接続部から燃料が漏れる恐れがあります。

○垂直に設置してください。
傾斜地などに置く場合は、装置が傾かないように水平な台の上などに置いてください。

○装置が倒れないようにしてください。
装置が倒れないよう注意してください。必要に応じて、加温機やボイラー等の足などに固定してください。

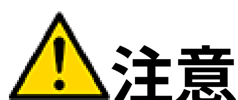
１－３　配管上の注意事項



○エアー抜きを充分に行ってください。
装置本体、ストレーナー、ポンプ等にあるエアー抜きで、装置内や配管内の空気を完全に抜いてください。作動テストをしていただくようお願いいたします。

○ストレーナーを取り付けてください。
装置とバーナーの間には、必ずストレーナーを取り付け、ストレーナーを定期的に清掃してください。目詰まりにより圧力損失が大きくなり、流量が低下しますので、ご注意下さい。（加温機・ボイラーに付属のものでご利用いただけます）

１－４　保管上の注意事項



○装置内のフラッシング(洗浄)をしてください(A重油の場合)。
装置をしばらく使用しない場合、装置内に不純物が沈殿・堆積し効果を妨げることがあります。ご利用状況にもよりますが、１～２年毎のフラッシング（洗浄）または内部セラミックの交換を推奨しております。
メンテナンスは当社でも受け賜ります。詳しくはＰ８をご覧下さい。

○装置本体を改造･破壊しないでください。
お客様の都合で、装置本体を改造・破壊された場合には、一切の保証をいたしません。
万一､破損または異常を確認された場合にはすぐに販売店または当社にお問い合わせ下さい。

２．概　要

燃焼設備（ビニールハウス用加温機・乾燥機・等）の燃油節約を目的とする小型・使いやすさを実現した高性能燃焼補助装置です。

３．設置要領

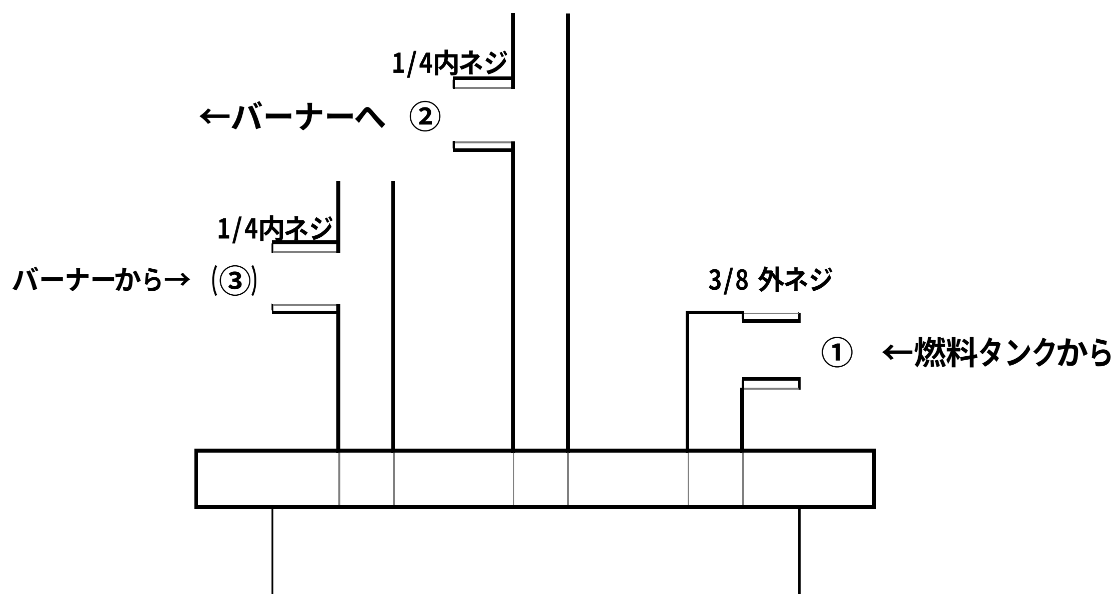
３－１　設置場所について

(1)なるべく加温機・ボイラー等のバーナーの近くに垂直に設置してください。
(2)バーナーから装置までの燃料ホースが長くならないようにしてください。
(3)バーナーが高い位置にある場合には、それに合った高い台に装置を載せて固定してください。
(4)振動・雨露・塵埃・高温・のない場所に設置してください。
(5)装着・脱着が容易な所に設置してください。

３－２　燃料ラインの接続について

(1) 加温機のエアーセパレーター等の接続ホースを､装置本体の上部３ケ所の接続口に接続してください。（次ページ写真を参照ください）

①外側のＬバルブ(3/8　外ネジ)　　燃料の入り口
②中央のバルブ(1/4　内ネジ)　　燃料の出口
③外側の長いバルブ(1/4　内ネジ)　　燃料の戻り口（戻りラインがある場合）



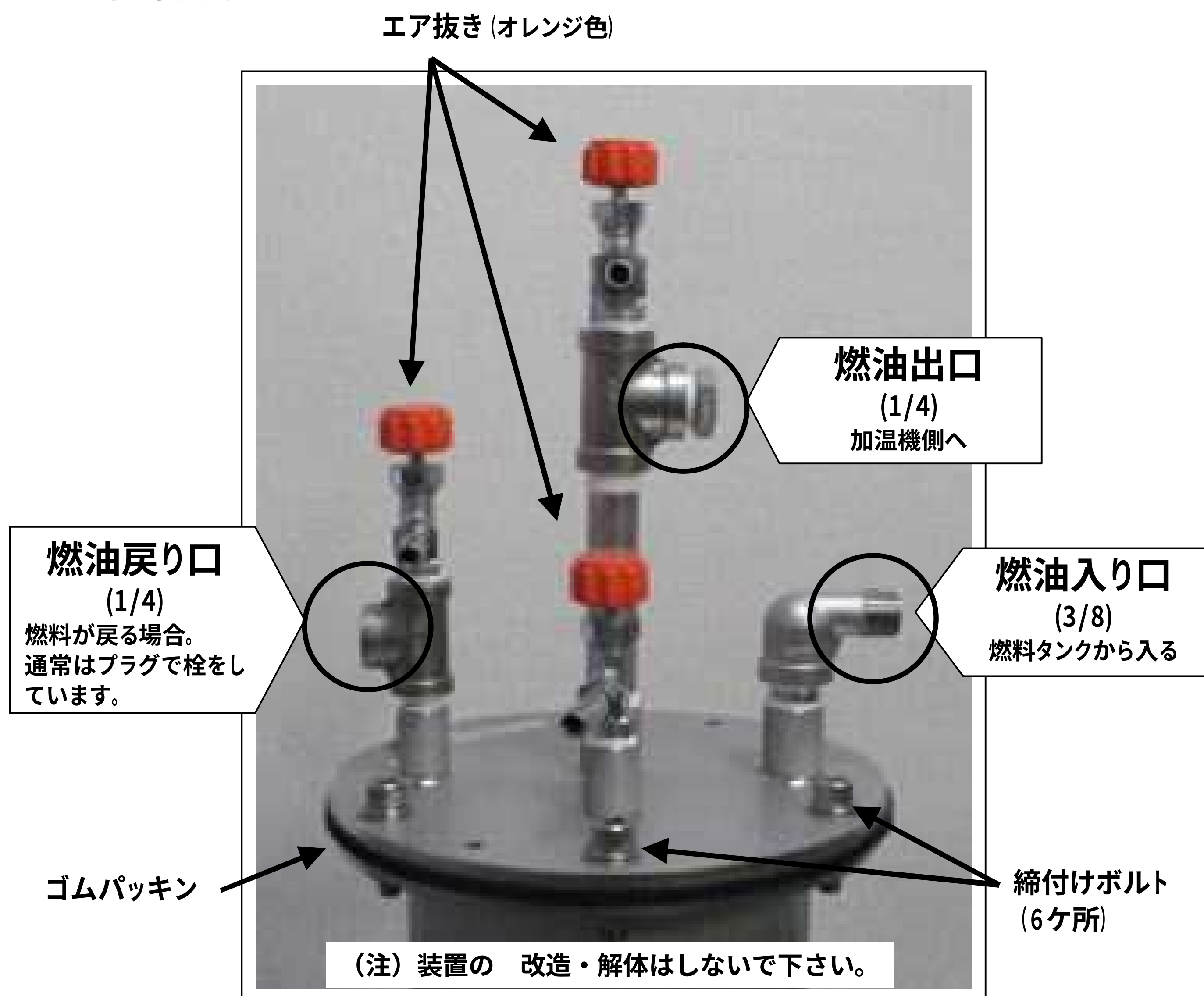
３－３　運転開始時の注意事項について

(1)装置本体、バーナー、ストレーナーやポンプ等にあるエアー抜きで、装置内や配管内の空気を完全に抜いてください。始動テストをお願いいたします。

(2)エアーシャッター等で、バーナーの空気量を調整してください。
空気量が過剰な場合、熱損失が大きく燃焼効率は低下します。エアーシャッター等を絞って調整をしてください。

(3)接続部分の燃料漏れ、燃料の流れに異常がないか確認してください。

３－４　取付要領図



※装置の改造・解体をしないで下さい。必要な場合は返却をお願いします。
お客様で改造・解体された場合は、一切の保証をお断りいたします。

４　メンテナンスの方法

Ａ重油をお使いの場合、装置内部や内部に入っている触媒（セラミック）が汚れますと効果が低下します。ご利用にならない時期には、本体に灯油を充填しておいてください。

　また、ご利用状況により差がありますが、１～２年毎に触媒（セラミック）とゴムパッキンの交換、および装置本体内部の洗浄を推奨しております。

　販売店または当社までお問い合わせ下さい。

４－１　内部セラミック交換方法

①燃料ラインの元栓を締めて燃料の流れを止めてください。
②六角レンチを使い、上部のフランジ（蓋）の周りにある締付けボルトをはずし、フランジ（蓋）を開けてゴムパッキンを外してください。
③胴体部を傾け、内部のセラミックを油ごと容器等に移してください。
④胴体部内部を確認し、汚れがあれば拭き取り、交換用セラミックを入れてください。
⑤ゴムパッキンを取り付けて､フランジとゴムパッキンと胴体部を締付けボルトで締め付けます。（ゴムパッキンの取り付け方は次項４－２を参照のこと）

[締付け方法]

まず一度､対角線同士を順番に全部軽く締めてください。再度同様に対角線同士の順番で増し締めをしてください。

※注意：電動ドライバーを使わないで下さい。強く締まりすぎます。

⑥使用済みのセラミックは、油をよくきって、交換用セラミックの箱に同梱のビニール袋に入れ、油が漏れないようにして返送して下さい。



フランジ（蓋）を開けた様子



胴体部を傾けている様子

４－２　ゴムパッキン交換方法

①　４－１で、上部のフランジ（蓋）の周りにある締付けボルトをはずし、ゴムパッキンを取り外してください。
②　ゴムパッキンの穴とフランジの穴を合わせて締付けボルトを付けてください。

※注意：パッキンの方向が決まっています。ゴムパッキンとフランジの穴が合っていないと燃料が流れません。必ず穴を合わせて下さい。



ゴムパッキンの写真

5　製品仕様

材　　質　　本体：SUS304　ﾊﾟｯｷﾝ：耐油ﾆﾄﾘﾙｺﾞﾑ　触媒：耐油ｾﾗﾐｯｸｽ
使用燃料　　Ａ重油・灯油
使用圧力　　１ＭＰａ以下
対応燃料流量　　２００Ｌ／ｈ以下
（参考値：対応燃料消費量　約２５Ｌ／ｈ以下）

6　保証期間ならびにその範囲

本装置の保証期間は納品日から１年です。未使用でも１年間です。
当社側の責任で保障期間中に故障を生じた場合は、その修理および代替部品の納入を無償で行います。

ただし、次に該当する場合はこの保証の対象範囲から除外させていただきます。
(イ)お客さま側の不適当な取扱いならびに使用による場合
(ロ)故障の原因が本装置以外の理由による場合
(ハ)当社以外の分解・改造または修理によるための場合
(ニ)天災地変による場合

2009 年 10 月改定

株式会社　エス･エス･ティー

〒720-0046 広島県福山市今町 1 番 18 号　電話(代表) 084-925-7111　FAX 084-925-7112
E-mail:　info @ sstribune. com

MEMO